

令和4年度 明和町立明和西小学校 学校経営グランドデザイン

- 〈根拠とする法令・規則・計画等〉
- ・第3期群馬県教育振興基本計画
 - ・学校教育の指針(群馬県教育委員会)
 - ・明和町教育行政方針

学校の教育目標

〈基本目標〉

社会の変化に主体的に対応できる、心豊かで実践力のある、心身ともに調和のとれた児童の育成

〈具体目標〉

- 礼儀正しい子
- 真剣に学習する子
- 心と体をきたえる子

〈目指す学校像〉

- 児童にとって「毎日が楽しく、のびのびと過ごすことができる学校」
- 教職員にとって「働きがいのある学校」
- 保護者や地域にとって「安心して子どもを通わせることができる学校」

〈目指す児童像〉

- 自分も人も大切にできる児童
- 自ら考え、めあてに向かって粘り強く取り組む児童
- 運動して心と体をきたえる児童

〈目指す教師像〉

- 児童一人一人を大切にする教師
- 信頼される教師
- 学び続ける教師

経営方針

- ① 児童の自主性を育て、徳・知・体の調和のとれた人間性の育成をめざす。(しなやかに生きる力)
- ② 教師と児童、児童相互、教職員相互の良好な人間関係を基盤とした信頼のある、居心地のよい学校づくりをめざす。(特別活動の充実)
- ③ 教職員の協働性を高め、教科担任制の充実、ICTの活用、教師力向上につながる校内研修の充実に努め、全職員が学校経営に参画し、質の高い教育活動の実践をめざす。(学び合う組織)
- ④ 児童の安心・安全の確保を最優先し、体力・健康づくりと命の大切さを育む学校をめざす。(健康・安全)
- ⑤ 保護者や地域に開かれた学校づくりを推進し、家庭・地域社会との連携を深め、地域とともに歩む学校をめざす。(地域連携の充実)

本年度の努力点

～自立・挑戦・感謝～

- ① 心豊かで実践力のある子どもの育成に努めます
- ② 感動に満ちた笑顔いっぱいの学校の実現に努めます
- ③ 教科担任制の充実を図ると共に、ICTを活用し学びを深める授業改善に努めます
- ④ 安全で健康な学校生活の実現に努めます
- ⑤ 地域に親しみ、学びを広げる体験活動の充実に努めます

自分も人も大切にします

なかよく

～心豊かな子の育成～

めあてに向かって、粘り強く取り組みます

かしこく

～知識を身に付け活用できる子の育成～

運動して心と体をきたえます

たくましく

～たくましい子の育成～

① 学級経営の充実

- 温かい人間関係を築き、お互いのよさや可能性を認め、褒め、伸ばす学級経営の充実に努める。(自己有用感の育成)

② 心の教育の充実

- 特別活動を要として自主的・自立的な活動に取り組むと共に、互いに認め合い、共に支え合う、思いやりの心の育成に努める。(QU検査)
- 児童主体のいじめ防止活動等を推進し、人権教育・道徳教育等の充実に努め、いじめ撲滅の学校風土を醸成する。(差別やいじめサインに気付く常時指導)

③ 生徒指導・人権教育の充実

- 児童の人格を尊重し、児童の努力・工夫・よさ・可能性を認め、気づかせ、自信を育み、児童の心に寄り添った生徒指導・人権教育の充実に努める。(チーム支援)

① 確かな学力の向上

- 「はばたく群馬の指導プランⅡ (ICT活用ver)」を参考に、ICT等を効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に努める。
- 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を通して、学びの主体性・協働的な課題解決力の育成に努める。
- 専門性を生かした指導を通して、学びを深めるとともに、個に応じたきめ細かな指導に努め、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
- ICT機器を活用した学びの拡充やプログラミング教育・読書活動の充実に努める。

② キャリア教育の充実

- 各教科等において社会と生活とのつながりを意識させ、体験活動を充実させる等、学びの発展・学ぶ意欲の向上につながる指導の工夫に努める。

① 健康・安全教育の推進

- 児童の自主的な運動が持続できる環境を整え、体力の向上を図る。(体力向上プランの活用)
- 食育の充実に努める。
- 食物アレルギー児童へのきめ細かな対応に努める。
- 校内安全、交通安全、防災・防犯などの安全教育を通して児童の危険回避能力を育成し、家庭・地域・関係機関との連携・推進を図る。

② 教育環境づくり

- 必要な教材・教具の整備や掲示物等、目的をもった学習環境の設備を行うと共に、校内の環境整備に努める。
- 特別な支援を要する児童の個別の指導計画、教育支援計画を作成し、合理的配慮の視点から環境を整える。

校内研修主題

目標：学びに生かせる情報を活用し、主体的に学ぶことのできる児童の育成
手立て：『はばたく群馬の指導プランⅡ (ICT活用ver)』を基に、ICT等を効果的に活用した授業改善

- 「元気な挨拶・はっきりした返事」を励行し、温かい人間関係づくりに努める。
- 読書活動の推進やチャレンジタイムの工夫、集会の発表等を通して言語活動の充実に努める。
- 英語への興味・関心を高め、楽しい英語授業の実現を図る。
- 教科体育、縦割り集会、業間時間を活用した体力づくりを行う。(2つの校庭の活用)
- 地域人材等の活用による体験的な学びの場を拡充する。

教育課程の評価 ⇄ 学校評価 ⇄ 授業改善

○自ら考え判断し、行動できる子

○自分も人も大切にできる子

○失敗を恐れずに挑戦する子

○最後まで諦めずに粘り強く取り組

む子

○健康や安全に気をつけて生活できる子